

# 第一回 ゆうしん青島 運営推進会議

## 議事録

平成 28年 10月 25日 (火)

議題	内容
<b>ゆうしん青島事業内容紹介</b>	・H28年9月現在の稼働実績
	・活動報告
	・事故報告
<b>活動の地域密着化</b> (地域包括センターより)	・他事業所では、利用者様の作品など近隣の公民館などに掲示させてもらい施設での取り組みを紹介している。
	・散歩や地域の幼稚園児の定期的な来所やボランティアの受け入れなどの取り組みをおこなっている事例もある。
	・地域での取り組みに積極的に参加し、施設の存在やそういったご利用者様いるかなど、理解していただき緊急時などに地域に応援してもらえるような環境づくりが必要である。
	・防災訓練に参加。施設利用者を数名の職員で避難させることは困難。夜間は職員は一人になるためもっと困難な状態になるため、地域の避難訓練などに参加し、災害時の避難協力の要請や避難方法などを明確化させている必要がある。
<b>利用者様意見</b> (利用者代表者様)	・開設時より利用しており、最長の利用になる。
	・現在は泊りの利用も少なくなり、自宅から通う事が多くなってきている。利用当初は、躁鬱状態がひどく攻撃的な発言が見られたり、薬の影響で歩行が不安定になり、転倒を繰り返していたが、現在では落ち着いて過ごすことができ、在宅生活での生活に戻る事ができた。本人もやっと現在の生活に慣れてきている。家族不在時や用事等がある際は、家族の介護休息もかね週2日の泊りを利用している。
	ご家族の介護負担と不安の軽減も図っている。

議題	内容
<b>事故報告、対応方法</b>	事例1:おやつを喉に詰まらせチアノーゼを起こす。
	見守りもあり、看護師もいたため迅速に対応できたため大事に至らず。
	原因:提供ミス(キザミ食対応を一口大で提供)
	事例2:服薬忘れ、落薬
	夜勤者が一人で対応したため、服薬忘れ等が発生。
	対策:早番が出勤してから服薬を実施。2名体制での服薬管理を実施。
	事例3:職員が送迎時に、利用者様が頬を叩かれるところを目撃する。その
	尿道カテーテルの尿破棄を拒否や水分摂取を制限を強要するなど虐待の
	可能性がある判断し、担当ケアマネジャーに報告し当施設にて保護をする
	担当ケアマネジャーから地域包括支援センターへ報告し今後の対応を相談
	当施設では、管理者・看護師も交え検討した結果緊急保護を実施。
	その後、ご家族、ケアマネジャー、短期入所施設担当者で今後の方針を検討
	長期施設への入所申込を済ませる。
	当施設と短期入所との併用していき、安全に長期施設の入所を待機でき
	環境を提供。